

彼らこそブラスの王道!!

ロンドン交響楽団 ブラス クインテット

2014年
1/8(水)19:00

紀尾井ホール

Wednesday, January 8, 2014 at 7 p.m.
Kioi Hall, Tokyo

1/9(木)19:00

三井住友海上 しらかわホール

Thursday, January 9, 2014 at 7 p.m.
MS&AD Shirakawa Hall, Nagoya

1/10(金)19:00

いずみホール

Friday, January 10, 2014 at 7 p.m.
Izum Hall, Osaka

[各日共] 全指定席 ¥5,000 学生席 ¥2,500

Members:

フィリップ・コブ(トランペット)
Philip Cobb (tp)

ニール・キートリー(トランペット)
Niall Keatley (tp)

ティモシー・ジョーンズ(ホルン)
Timothy Jones (hr)

ダドリー・ブライト(トロンボーン)
Dudley Bright (tb)

パトリック・ハリルド(チューバ)
Patric Harild (tub)



J.S.バッハ: トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

J.S.BACH: Toccata and Fugue in D minor BWV565

スカルラッチィ(S.ドジソン編): ソナタ

SCARLATTI(arr.Stephen Dodgson): Sonata for Keyboard(No. TBA)

エワルド: 金管五重奏曲第1番 op.5

EWALD: Brass Quintet No.1 op.5

クーツィール: 子供のサーカス op.79

KOETSIER: Kinderzirkus Music op.79

クレスポ: 組曲「アメリカーナ」第1番

CRESPO: Suite "Americana" No.1

D.ブライト: ブラス・オン・ブロードウェイ

D.BRIGHT: Brass on Broadway

LSO
Brass
Quintet

憧れはやっぱりイギリスでした。

「ブラス」と聞き、思い浮かべるのはどこの国？ フランスの煌びやかな音色も魅力的だし、ドイツの重厚さも捨てがたい。最近ではアメリカのゴージャスなサウンドに憧れる人が多いよう。今でこそ世界中の様々なタイプが紹介され、国内でも盛んに演奏されるブラス・アンサンブルですが、私にとって、今も昔も憧れはやっぱりイギリスでした。

フィリップ・ジョーンズ・ブラス・アンサンブルを大阪で聴いたときの衝撃は忘れられません。イギリス人はこんな音が出せるのか？ 本当に金管楽器だけの音なのか？…何度も耳を疑いました。この気持ち、往年のブラス・ファンには理解してもらえるのではないのでしょうか。

私が初めてロンドン交響楽団を聴いたのは、たしか1963年。ピエール・モントゥーの指揮でした。ブラス・セクションのまばゆい輝きは、芯が通っていて、スマート。変に飾らなくても高級感を感じます。つまるところ彼らの音楽は“王道”であり“粋”なのです。それは長年に渡って培われた英国式ブラスバンドの誇り高き歴史に裏付けされているに他ありません。

ちょっとわかりづらい言い方もかもしれませんが、英国紳士がとりわけお洒落に見えるのは、山高帽の使いこなしが上手いだけでなく、彼らの内面にある“誇り”であり“粋”にあるのでしょう。だからカッコいい。つまり、そういうことです。

ああ、やっぱり憧れます。イギリスに。

丸谷 明夫(大阪府立淀川工科高等学校名誉教諭・吹奏楽部顧問)

ロンドン交響楽団ブラス・クインテット LSO Brass Quintet



ロンドン交響楽団ブラス・クインテット(以下LSOBQ)は、1970年代、世界的に著名なバリー・タックウェル、デニス・ウィック、ウィリー・ロン、ハワード・スネルらの奏者が在籍した時代に結成されたロンドン交響楽団ブラス・アンサンブルにその源流があり、LSOの完璧とも呼ばれるサウンド、とりわけ映画音楽のメロディなどを支える金管セクションの首席奏者を中心に結成された。「スター・ウォーズ」「スーパーマン」「ハリー・ポッター」などのサウンドトラックでも彼らのサウンドを聞くことができる。現在、フィリップ・コブ(トランペット)、ニール・キートリー(トランペット)、ティモシー・ジョーンズ(ホルン)、ダドリー・ブライト(トロンボーン)、パトリック・ハリルド(チューバ)がメンバー。LSOの本拠地である英国ロンドンをはじめ、日本も含めた諸国での演奏活動のほか、LSO教育プログラム「LSOディスカバリー」などコミュニティ活動も積極的に行っている。

2012年の来日公演では、ブリリアントでパワフル、かつイギリスのブラスならではのジェントルな響きを聴かせて絶賛された。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

カジモト・イープラス <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

@kajimoto_News

<http://www.facebook.com/kajimotomusic>

チケットびあ 0570-02-9999(Pコード: [1/8]211-809, [1/9]212-184, [1/10]212-185)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061[1/8のみ取扱い]

しらかわホールチケットセンター 052-222-7117[1/9のみ取扱い]

いずみホールチケットセンター 06-6944-1188[1/10のみ取扱い]

便利なケータイサイトも

ぜひご利用ください。

iモード・EZweb・

Yahoo!ケータイ 対応

チケットもご購入いただけます。



カジモト・イープラス

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。